

令和2年度 第4回 函館市高齢者計画策定推進委員会 会議概要

■ 日 時

令和3年2月10日（水） 18時30分～19時30分

■ 場 所

市役所本庁舎 8階第1会議室

■ 議 事

第9次函館市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（2021年度～2023年度）素案
について

■ 配付資料

- ・資料1 第9次函館市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画素案（概要版）
- ・資料2 第9次函館市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画素案

■ 出席委員（12名）

朝倉委員，池田委員，岩井委員，大槻委員，恩村委員，川上委員，小杉委員，
齋藤委員，富樫委員，所委員，能川委員，山田委員

■ 傍 聴 0名

■ 報道機関 2社

■ 事務局職員

保健福祉部

大泉部長，本吉次長

地域包括ケア推進課 小棚木課長，高橋課長，石岡主査，相澤主査，蝦名主事

介護保険課 工藤課長

高齢福祉課 黒田課長

■ 会議録（要旨）

池田会長

本日の議事は計画の素案についてである。それでは、事務局から説明願いたい。

相澤主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

（資料1「第9次函館市高齢者保健福祉計画・第8期函館市介護保険事業計画素案（概要版）」に基づき説明）

※説明要旨

- ・ 第1章では、第1回目の委員会で説明させていただいた、高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の定義や策定の趣旨、策定に向けての取り組みなどを端的に記載している。
- ・ 第2章では、本市の人口や高齢化率、世帯の状況など、主に第2回目の委員会で説明させていただいたデータをまとめて掲載している。
- ・ 第3章、第4章では、前のページまでの現状と課題を踏まえ、7つの基本施策（黄色）を進めていく。

なお、基本施策1－（1）「地域包括支援センターの機能強化」で、当計画の期間内に、各センターを、高齢者の問題だけでなく、8050問題のような世帯の中で複数の問題を抱えている場合の相談や支援に対応する福祉拠点として、多機能型センターとする機能強化を目指している。

- ・ 第5章の要介護認定者数等の推計は、第3回目の委員会の資料と同様で、2030年から2035年には、要介護認定者数と認知症高齢者等の人数は、現在から1割程度増えると予測しており、これに伴い、介護サービスの利用量も緩やかに増えていくと考えている。

なお、介護保険施設等需給状況調査などの結果を踏まえ、第8期では施設・居住系サービス事業所の新設は行わない。

また、介護保険料は、前述の要介護認定者数の増加に伴う介護サービスの利用量の増加や、国の介護報酬の改定（年0.7%程度のアップ）を踏まえ、月額6,320円とした。

- ・ 第6章の計画の指標については、記載のとおり6種類である。

池田会長

ただいまの説明に対し、何か質問や意見はあるか。

齋藤委員

まず、これだけのデータを収集してまとめるという作業は大変だったと思う。感謝申し上げたいのが、介護職員がいなくて空床になり、大変な思いをしている人がいるのになぜ施設を増やすのだろうと、我々介護現場のスタッフが思っていたことを、ここで解決できたことである。

市内の全施設4,846床の中の空床が58床というのは小さく見えるかもしれないが、一般的には、定員が50床程度、またはそれ以上の特別養護老人ホームが多いので、この58床の空床と

というのは、およそ特養1か所分になる。もっと言えば、地域密着型の特養は1施設が29床なので、2か所分になる。

今後は空床を埋めるための努力が必要であり、それが介護職員不足の解消である。それを深く議論するのは、この委員会ではなく別の場になるかと思うが、例えば、外国人を含めた雇用促進の問題、職員の離職防止や資質の向上などについて議論する必要があると思う。

池田会長

ありがとうございます。他に質問や意見はあるか。

所委員

高齢者人口や認知症の方の数の推移などわかりやすかった。

今、高齢者である方が現役世代であったときと、2040年に高齢者になる方（団塊ジュニア世代）では、病気や認知症に対する考え方や理解度が違うと思う。

2040年に高齢者になる方（団塊ジュニア世代）が、（将来）不安に思う病気や認知症のことを考えると、2040年に向けて、疾病予防や認知症に関する理解を更に深めて各自が取り組んでいくことや、地域での助け合いなどをもっと広げていけると、住みやすい函館になるのではないかと思う。

また、新型コロナウイルス感染症の関係で、入院や施設入所によって面会が難しくなるので、お家で頑張ってしまうという声も聞こえてくる。包括も含め、高齢者の在宅生活の支援に手探りで動いてきた1年だったが、病院や施設だけではなく、家で過ごすサービスの充実が、もう少し必要。もちろん人材の確保や育成も大切だが、それも含めてやっていくことが重要だと思う。

小杉委員

所委員と同じように考えている。函館には施設が結構あるし、事業所も比較的多い。高齢者の方が（施設や事業所を）自分で選べるので、足りないわけではないと感じる。

しかし、サービスが足りているから独居の方がずっと家で暮らせるかというところではない。ヘルパーさんがいるので入浴や食事はできるが、例えば、雪かきやごみ出し、お家のメンテナンスなどを、自分だけではできなくなってしまった時に、もう一人で家にいられないと感じる。

もしかしたら、ボランティアなどの介護保険以外のサービスが足りないのかもしれない。あるいは、そういうサービスがあるのに私たち包括が把握できていないのかもしれない。またはニーズをマッチングできていないのかもしれない。

新しいもの（高齢者の支援の形）作っていくとともに、今あるものを上手くマッチングさせることで、お家に長くいられる、そういう函館になればいいなと感じている。

池田会長

ありがとうございました。地域にはいろいろな技術を持った人がいるので、そのような方々

をどのように発掘し、活躍してもらうのが大事である。

他にあるか。

恩村委員

3 ページの基本施策の 2 に「医療・介護連携支援センターの機能の充実」があるが、これは現時点で具体的な施策はあるのか。

小棚木地域包括ケア推進課長

新しい施策を行うということではなく、現在使用している「はこだて医療・介護連携サマリー」の利用率が50%程度で推移しているため、その利用促進を考えている。

恩村委員

在宅医療や在宅介護の連携がもう少し上手くいけば、こちらも動きやすい。医療・介護連携支援センターに相談等が来ていると思うので、その件数が増えていくといいと思う。

池田委員

他に何かあるか。

山田委員

私などの高齢者自身が活動できる場所はあると思う。小杉委員も仰っていたが、町会や在宅福祉委員会などいろいろあるが、老人クラブの力もまだまだ需要があると思う。65歳なんて、私からすると若者。このまま衰えていくと思わない。

岩井委員

山田委員の話は、まさに資料 1 の 2 ページに記載されていたキーパーソンとなる高齢者の方々へつながるわけですね。どんどん進めていただければと思います。

計画が上手くいくかどうかは、今後 3 年で「地域包括支援センターの機能強化」がどれだけ強化されて、どれだけ動かすことができるかにかかっているのではないかと思う。

歯科医師会は今でも地域包括支援センターや医療・介護連携支援センターなどに関わりがあるが、在宅歯科診療や在宅の口腔ケアなど、強化されたセンターと今後どのように関わっていくか、仲間内でも相談している。

池田委員

岩井委員が仰るように、包括と歯科医師会、包括と医師会など結びつきを強めていけば、包括も動きやすくなると思う。

ほかに何かあるか。

それでは、この素案が今後パブリックコメントとして公開され、広く意見を募る形になる。

今回が今年度最後の委員会となるので、最後に私から挨拶をさせていただきたい。

昨年8月11日に第1回目の委員会があり、これまで函館市の人口や高齢者数、要介護認定者数の現状、ニーズ調査などの各種調査の結果に基づき、次期計画の策定について今まで協議してきた。

団塊の世代が75歳以上になるのが2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上になるのが2040年、このようなことを見据えて、委員の皆さんと行政が、今後の函館市の課題や方向性について共有できたと思う。

函館市には、新たな計画に基づき、高齢者福祉の向上に積極的に取り組んでいただくことをお願いしたい。福祉のまちづくりというのは市長の公約でもあるので、そこも含めてお願いする。

そしてこの委員会についてだが、計画の目標の達成状況などの進捗管理をしていかななくてはならないため、これから年に1回程度委員会を開催し、事務局からの説明を聞きながら話し合っていくことになる。引き続きよろしくをお願いしたい。

相澤主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

保健福祉部長の大泉からも、一言ご挨拶をさせていただく。

大泉部長

会長をはじめ委員会の皆様におかれましては、お仕事を終わられてからの忙しいなか、精力的に活動いただき、厚く御礼申し上げます。

皆様からいただいたご意見・ご提言は、今後の施策にしっかりと反映させながら、取り組んでまいります。今後とも、計画の進捗管理についてもご協力をお願いしたい。これまで本当にありがとうございました。

池田委員

ありがとうございました。すべての議事が終わったので、進行を事務局へお返しする。

相澤主査（地域包括ケア推進課 企画・管理担当）

計画が最終的に決定するのは3月になるので、決定次第お知らせする。皆様、本日はありがとうございました。